

2018 (平成30) 年度 西南学院講座 in Tokyo

臨床家の感性を磨く

これまでの講座で私は、発達障碍に限らず様々な心の病の基盤に
「甘えたくても甘えられない」という「アンビヴァレンス」が深く関与していることを明らかにしてきました。
よって治療面接では、アンビヴァレンスを「関係」のなかでいかにして捉えるかが臨床家に求められます。
しかし、このことは誰にとっても容易ではありません。
なぜなら自らの「感性」に頼らざるをえないからです。
そこでは「感じ取る」ことが重要になります。
そこで本講座では実際の事例を供覧しながら、みなさんにその大切さを肌で実感していただきます。
ついで最近私が試みている「感性教育」について解説します。

定員
20名
定員に達し次第
受付終了

参加資格は守秘義務を担う職業についている方に限ります。
テキストは『臨床家の感性を磨く』（誠信書房）を用います。
講座当日も特価にて販売します。
なお、受講料にテキスト代は含まれません。

会場

ステーションコンファレンス東京
402CD室 (サピアタワー 4階)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12

講師

小林 隆児

(西南学院大学大学院臨床心理学専攻教授)

進行役とファシリテーター

佐川 眞太郎 (東洋大学)

受講対象者

守秘義務を担う職業についている方

受講料

5,000円

(事前振込。振込方法については追ってご案内いたします)

※講座の運営に支障をきたす行為をされた場合は、
ご退席いただく場合がございます。

※受講申し込みについては、裏面をご覧ください。

5/26 (土)

9時30分～17時50分 (9時開場)

スケジュール

09:30～10:00	オリエンテーション
10:00～11:00	事例1 供覧とまとめ
11:00～11:10	休憩
11:10～12:40	対話1 「関係をみる」ことをめぐって
12:40～13:30	昼食と休憩
13:30～14:30	事例2 供覧とまとめ
14:30～14:40	休憩
14:40～16:10	対話2 「関係をみる」ことをめぐって
16:20～17:50	「感性教育」について、および総合討論

西南学院東京オフィス (サピアタワー 10階)

TEL 03-5220-3737 FAX 03-5220-3838 E-mail tokyo@seinan-gu.ac.jp URL http://www.seinan-gu.ac.jp/tokyo_office/to_outline.html
開室時間 平日 9:30～18:30 / 土曜日 9:30～17:00 (日・祝日、学院の定める休日は閉室。9月～2月の土曜日は閉室)

西南学院

『西南学院講座 in Tokyo』受講申込書

- 〔記入上のご注意〕 ①住所・氏名(フリガナ)・電話番号は、必ずご記入ください。
②年齢・職業等については、受講者層を把握し、講座の運営に役立てるために使わせていただきますので、お差し支えない範囲でご記入ください。

受講講座名	臨床家の感性を磨く		
住 所	〒		
フリガナ			
氏 名			
電話番号			
年 齢	才	職 業	
今回の講座を どのような機会や媒体で お知りになりましたか?	当日、テキスト 購入希望の有無 (どちらかに○をつけてください)		有 ・ 無

講師	ファシリテーター
小林 隆児 (こばやし りゅうじ) 精神科医、医学博士、臨床心理士、日本乳幼児医学・心理学会理事長。九州大学医学部卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局後、大分大学、東海大学、大正大学を経て、現職。乳幼児体験がこころの臨床に及ぼす影響を探究しつつ、従来の発達障害を初めとする精神疾患理解の脱構築に取り組むとともに、最近では感性教育に力を入れている。代表的な著書に『「関係」からみる乳幼児期の自閉症スペクトラム』『自閉症スペクトラムの症状を「関係」から読み解く』(以上、ミネルヴァ書房)、『甘えなくても甘えられない』(河出書房新社)、『あまのじゃくと精神療法』(弘文堂)、『発達障害の精神療法』(創元社)、『人間科学におけるエヴィデンスとは何か(西研との共編)』(新曜社)など。最近『臨床家の感性を磨く』(誠信書房)を上梓。	佐川 眞太郎 (さがわ しんたろう) 臨床心理士。大正大学大学院人間学研究科臨床心理学専攻修了。公立教育相談機関教育相談員、公立中学校・高校スクールカウンセラー等を経て、現在、東洋大学朝霞キャンパス学生相談室学生相談員。関係発達の視点から臨床心理実践・研究に取り組んでいる。著書・論文に『オープンダイアログの「対話」に焦点をあてて(佐藤幹夫編『オープンダイアログ』は本当に使えるのか)分担執筆』『(言視舎)、「子育ての当事者になるということ―個人的な体験」をふりかえって』(そだちの科学 28号、日本評論社)などがある。

お申し込みは、この用紙に記入のうえ、FAX または郵送にてお送りください。この用紙以外の任意の用紙またはハガキ、メールでも受け付けています。その場合は、必ず件名に『西南学院講座(臨床家の感性を磨く)』と記入してください。(申込受付確認の返信はいたしませんので、ご了承ください。)お申し込みは先着順に受け付け、**3月下旬頃から** 順次、受講案内・受講料振込用紙を送付させていただきます。

西南学院東京オフィス

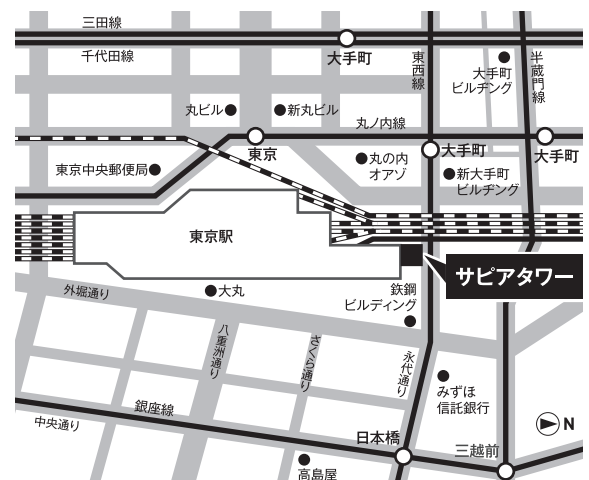
〒100-0005

東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー 10階

TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838

メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp

開室時間 [平日] 9:30~18:30 [土曜日] 9:30~17:00
※日、祝日、学院の定める休日は閉室。9月~2月の土曜日は閉室。



JR東京駅から 新幹線専用改札口(日本橋口)より 徒歩約1分
八重洲北口改札口より 徒歩約3分
地下鉄東西線大手町駅から B7出口直結(サピアタワー地下入ロ)

〔個人情報のお取り扱いについて〕

受講申込時に預かりした上記の個人情報は、当講座の実施・運営ならびに次回の講座や本学院主催の講演会等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。当講座管理・運営は、株式会社WAVEがサポートしています。(〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9 KEC 銀座ビル 7階)